

基礎数学 -e-Learningで学ぶ基礎-

単位数	ナンバリングコード		
2	DIF203		
	教員名	松井 伸也	
	専門	非線形解析、流体力学	
	出身校等	北海道大学理学研究科 博士（理学）	
	現職	北海道情報大学 情報メディア学部 教授	
授業形態			
前期インターネットメディア授業・後期インターネットメディア授業			
授業範囲		試験範囲	
インターネットメディア授業内容すべて		授業範囲のすべて	
		【試験時参照許可物】 一切自由 ※ただしWebページ（通信教育部POLITEを除く） と生成系AIの参照は不可とする。	
科目の概要			
<p>数学および数学関連の講義を受講する上で、基礎的な代数的計算を思い直すのは重要な事です。普段何気なく行っている計算が、どのような計算であるかを考え直し、形式的な計算ではなく納得した計算をして頂きたいのです。現代の代数学の根底をなす計算だとも言えます。</p> <p>一つ一つの計算を、その意味を考えながら計算することを、この講義のねらいとします。</p> <p>なお、教職の免許を取得する方には、基礎的な計算に不安が残る生徒に、基礎的な計算の成り立ちを理路整然と説明することでその不安を取り除く事ができると思います。</p>			
授業における学修の到達目標			
基本的な計算の仕組み(理由)を説明できるようになることを到達目標としたい。			
講義の方針・計画			
第1回：分数(1) 基礎 第2回：分数(2) 演習 第3回：式の計算 第4回：式の展開 (1) 基礎計算 第5回：式の展開 (2) 演習 第6回：因数分解 (1) 基礎計算 第7回：因数分解 (2) 演習 第8回：今までの演習 第9回：ルートの意味 第10回：ルートの計算 第11回：1次方程式と2次方程式 第12回：2次方程式と解の公式 第13回：分数式の計算 第14回：連立1次方程式 第15回：全体の演習			

準備学習
以下の準備学習を行う。 (予習) 前回の講義で行った計算などをやり直して下さい。 (復習) 各回の講義を受講後に、講義で行った計算などをやり直して下さい。
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法
演習問題の結果はその場で分かります。質問等は事務を通して行って下さい。可能な限り速やかに返事を出します。
成績評価の方法およびその基準
インターネットメディア授業：科目試験40%、IM授業内の演習問題 60% 試験と演習問題により総合的に評価を行います。 演習問題の正解を学修の履歴を見て平常点（最大59点）とし、試験結果に加点します。60点以上が合格です。 試験の点数と演習問題の点数の合計は100点を超えません。
教科書
ありません。
参考書
ありません。
その他
ありません。
試験期間
シラバス検索画面トップページ (https://syllabus-tsushin.do-johodai.ac.jp/) 下部の「2026学年暦」を参照
学習プリント
なし
教職科目
高校数学5の1（選択）、中学数学5の1（選択）
関連受講科目
三角関数・指数関数・対数関数
担当教員の実務経験
ありません。